

路面標示等に関する最近の話題 について

令和3年11月10日

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会
標示部会

①安全確保の為の区画線メンテナンスサイクルの必要性について

②文字・記号の図例改訂と標示レイアウトの一部変更について

③路面標示の新しい提案について

④破損した道路鋸の撤去について

①安全確保の為の区画線メンテナンスサイクルの必要性について

②文字・記号の図例改訂と標示レイアウトの一部変更について

③路面標示の新しい提案について

④破損した道路鋸の撤去について

愛知県建設局様に対する取り組み

4月～6月老朽化した安全施設及び危険箇所調査の実施

現状把握に必要なデータの提出

視認性を目視により5段階に分類しランク下位からの定期的な補修計画を推奨

メンテナンスサイクル構築のお手伝い

路面標示の摩耗の目安

社団法人 全国道路標識・標示業協会愛知県協会

路面標示評価ランクについて

当協会では、交通事故の多発している愛知県下の道路事情において必要不可欠な交通安全施設が良好かつ健全な状態で保たれることを目的とし提案活動をおこなっております。中でも路面標示・道路区画線については摩耗による視認性の低下が早く、他の交通安全施設に比べ早いサイクルでの維持管理が必要とされます。しかし視認性の良否については個々の判断に多少の誤差や違いが生じることがあります。そこで当協会では既存の路面標示に一定の判断基準を設け、それらに基づき更新の必要性を提案しております。

更新の対象

評価ランク 3

評価ランク 2 **令和3年度 調査対象**

評価ランク 1

評価ランク	定義	印象	判断理由	更新の必要性	
				夜間	雨天
5	視認性・輝度ともに良好	遠いまたは良く見える	更新後あまり時間が経過していない	○	○
4	視認性良好	見える	昼夜間の視認性に問題なし	○	○
3	視認性にやや問題あり	やや見えにくい	夜間・雨天時には見えにくい	△	×
2	視認性に問題あり	うすいまたは見えにくい	夜間・雨天時には殆ど見えない	×	×
1	視認性低下もしくは無し	殆ど見えない	直ちに更新が必要	×	×

①安全確保の為の区画線 メンテナンスサイクルの必要性

- 交通社会及び自動車の安全運転補助機能や自動運転化の発達に伴い一般社会から道路区画線の視認性の確保・向上が求められることが予想される
- 増え続ける高齢ドライバーに配慮した、より視認性の高い路面標示の必要性
- 交通事故防止の観点から雨天、夜間における道路区画線の視認性確保の重要性



道路区画線のメンテナンスは
交通の安全確保に必要不可欠

①安全確保の為の区画線メンテナンスサイクルの必要性について

②文字・記号の図例改訂と標示レイアウトの一部変更について

③路面標示の新しい提案について

④破損した道路鋏の撤去について

法定外表示の設置指針について(通達)

平成30年12月14日付け警察庁丁規発第129号

警視庁交通部長 殿
各道府県警察(方面)本部長
(参考送付先)
各管区警察局長広域調整担当部長

原議保存期間	5年(令和9年3月31日)
有効期間	一種(令和9年3月31日)

警察庁丁規発第72号
令和3年4月28日
警察庁交通局交通規制課長

法定外表示等の設置指針について(通達)

法定外表示等については、法定の道路標識等による交通規制の効果を明確にし、運転者に対して道路の状況又は交通の特性に関する注意喚起を行うなど、交通の安全と円滑に資することを目的として整備されてきたところであるが、これらが無秩序に設置された場合には、法定の道路標識等の整備効果を低下させるおそれがあることから、一定の法定外表示について設置様式等の統一を図り、適正な交通管理に資する必要がある。

そこで、法定外表示等の設置指針について、下記のとおり定めたので、事務処理に遺憾のないようにされたい。

また、「法定外表示等の設置指針について(通達)」(平成30年12月14日付け警察庁丁規発第129号)は廃止する。

2 法定外表示等の設置の在り方

(1) 統一を図る法定外表示

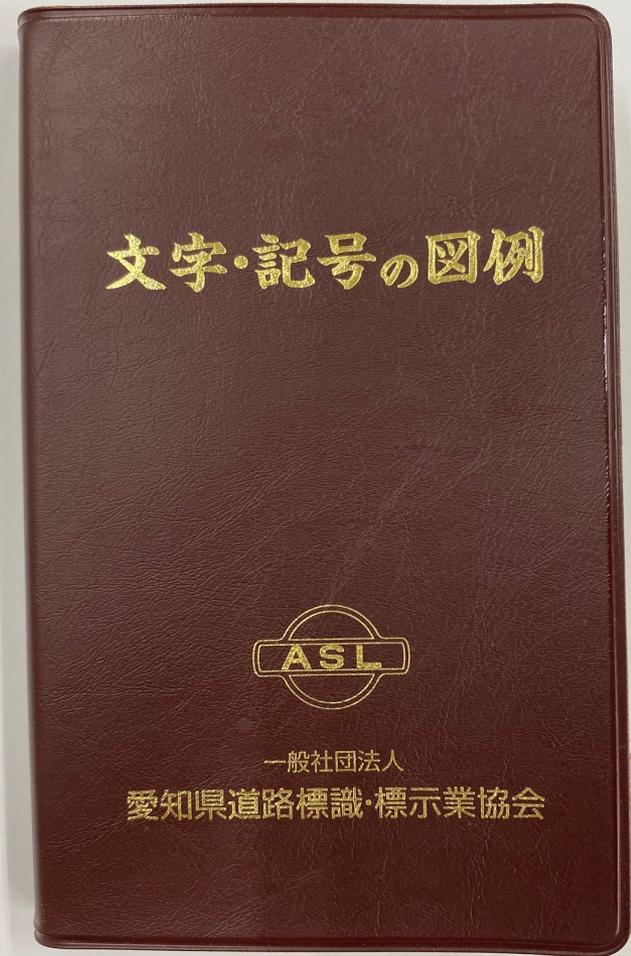
次の法定外表示は、「統一を図る法定外表示」とし、下記3(例外的に別の仕様を用いる場合には6)に定める事項に従うこと。

- 「進行方向別通行区分」の予告表示
- 環状交差点における路面表示
- 「止まれ」文字表示
- ハンプ路面表示
- 交差点クロスマーク表示

文字・記号の図例

令和2年2月一部改訂

愛知県警察本部 交通部
交通規制課様監修により
既存表示のレイアウト
の変更や通学路、生活
道路の安全対策に有効
な注意喚起文字などを
多く追加しています。



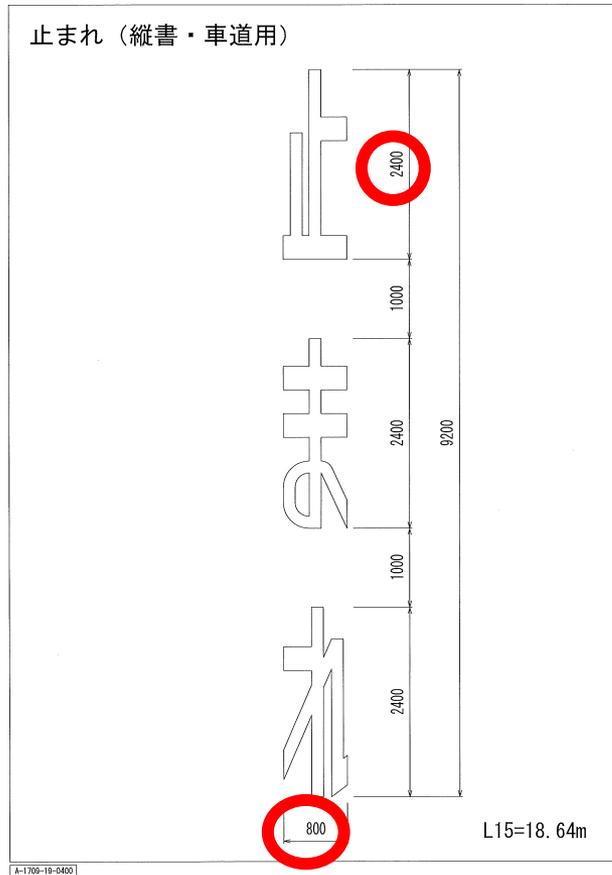
変更になった主な標示

※文字・記号の図例参照

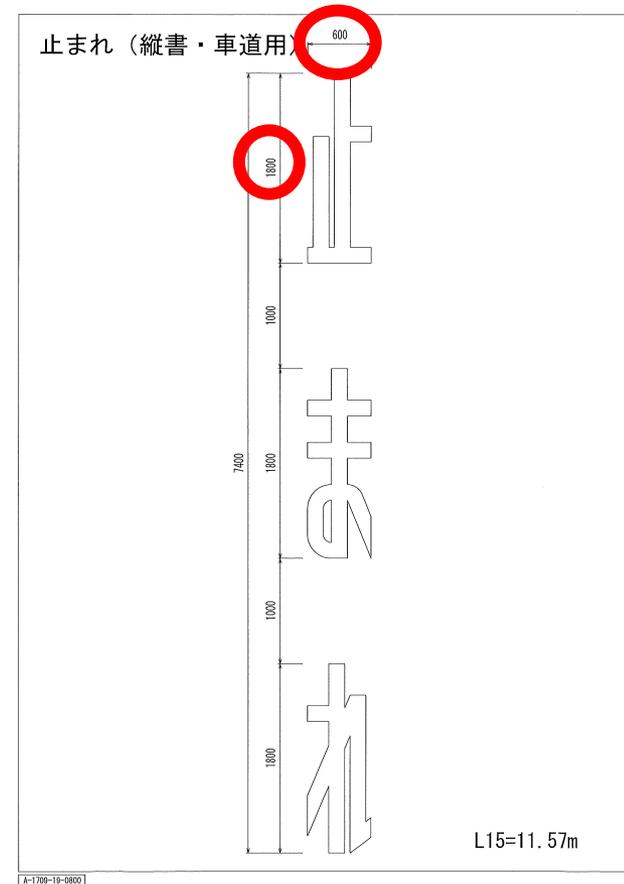
標示名称	W=15cm換算(m) 変更前	W=15cm換算(m) 変更後	備考
止まれ文字	18.73	18.64	レイアウト変更による
横断歩道予告	16.51	11.98	w30cm→w20cm
直進右左折矢印	9.15	8.92	面積再計算による
直進矢印 予告	5.65	5.25	レイアウト変更による
右左折矢印 予告	6.06	5.66	レイアウト変更による
直進右左折矢印 予告	8.55	7.81	レイアウト変更による
中心点マーク(対角2m)	20.47	6.39	公安委員会の意思決定による
交差点クロスマーク(T)	6.00	5.70	レイアウト変更による

止まれ文字 小タイプの活用

通常タイプ



小タイプ



止まれ文字 小タイプの活用

5.0m
未満

道路幅5m未満は止まれ
文字小タイプを選択

さ 卍 卍 |

1800 × 600文字

5.0m
以上

道路幅5m以上は止まれ
文字通常タイプを選択

さ 卍 卍 |

2400 × 800文字

※中央線がある場合は2400 × 800文字採用

廃止又は省略することが出来る標示

止まれ標示がある場合の横断歩道予告標示(省略可)

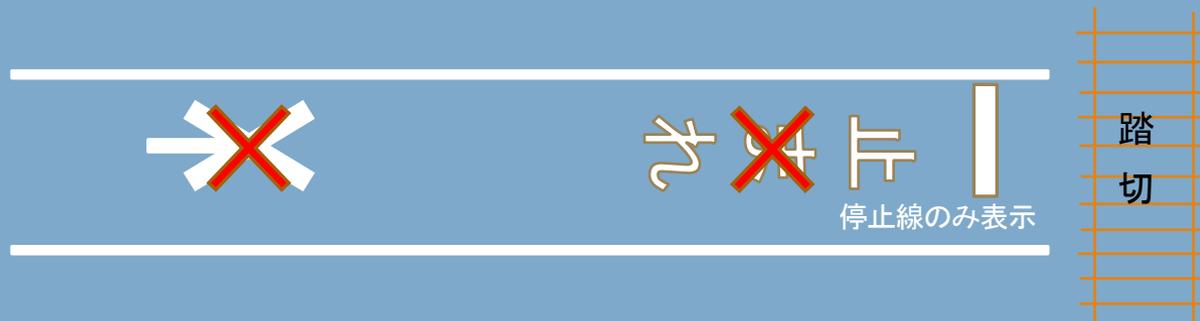


前方優先予告標示(廃止)

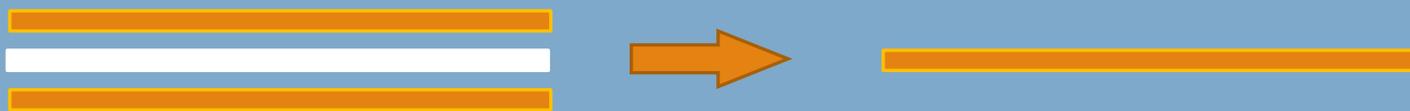


廃止又は省略することが出来る標示

踏切手前の止まれ文字及び踏切予告標示(廃止)



中央線の3本線表示(廃止)



3本線表示を黄色1本に

今後の工事設計の際には新しい仕様の反映をお願い致します。

①安全確保の為の区画線メンテナンスサイクルの必要性について

②文字・記号の図例改訂と標示レイアウトの一部変更について

③路面標示の新しい提案について

④破損した道路鋏の撤去について

新しい提案① 通学路安全対策 横断歩道グリーン化について

- ・2012年4月京都府亀岡市、2019年5月滋賀県大津市、2021年6月千葉県八街市など全国で子どもたちが犠牲となる悲惨な交通事故が相次いで発生
- ・通学路の安全対策として歩行帯のグリーン化(グリーンベルト)が全国的に普及
- ・グリーンベルトに続く新たな通学路対策として横断歩道グリーン化の提案
- ・保育園、幼稚園、小学校から半径500m圏内に位置する信号機の無い横断歩道を対象にグリーン化
- ・横断歩道の協調効果による横断者保護
- ・グリーンベルトと併せて対策することでより強い啓発効果が期待できる

愛知県における 横断歩道グリーン化の施工事例



※令和3年10月知多郡東浦町設置事例

横断歩道グリーン化他県の 施工事例について

児童たちの安全を確保しようと、山口県防府市は小学校周辺にある横断歩道のカラー化を進める。ドライバーから見えやすくするため、白線と白線の間を緑色にする。

対象は市道で信号機がない横断歩道。今年度当初予算では、小学校の半径250メートルにある約70か所で行う計画だったが、6月に千葉県で児童5人が飲酒運転のトラックにはねられ死傷する事故が発生したことを受け、範囲を拡大。対象を半径500メートルの約160か所に広げ、消えかかったラインも塗り直す。事業費は当初予算と合わせて5000万円。作業は今月から始め、今年度内に終える予定。



試験的に白線の間を緑に塗った横断歩道

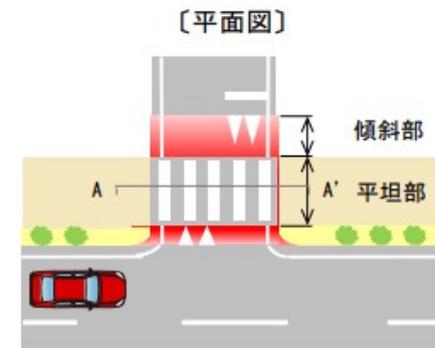
新しい提案② ゾーン30プラス スムーズ横断歩道について

ゾーン30プラスとは

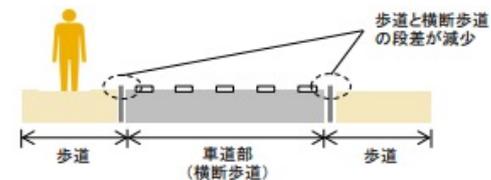
国土交通省道路局と警察庁交通局が連携しながら、最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスとの適切な組み合わせにより交通安全の向上を図ろうとする区域を「ゾーン30プラス」として設定し、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備の更なる推進を図る

スムーズ横断歩道とは

車道方向にハンプ(凸部)構造とすることで自動車の走行速度を低減するとともに歩道と横断歩道の段差を解消して、歩道と横断歩道の通行がスムーズになる物理的な対策です。ゾーン30プラスのデバイスとして提案



[断面図 (横断方向: A-A')]



愛知県における スムーズ横断歩道設置例

令和3年9月末現在新たに全国11箇所のスムース横断歩道設置予定箇所のうち、名古屋市内における横断歩道設置前の実証実験の様子



名古屋市昭和区白金小学校
西側の一方通行の道路

スムーズ横断歩道設置例

設置前と設置後の交通環境の変化



※IATSS国際交通安全学会YOUTUBEチャンネルより

①安全確保の為の区画線メンテナンスサイクルの必要性について

②文字・記号の図例改訂と標示レイアウトの一部変更について

③路面標示の新しい提案について

④破損した道路鋳の撤去について

④破損した道路鋏の撤去について

- 1) 道路鋏(チャッターバー)の効果と交通事情の変容
- 2) 破損した道路鋏による第三者被害
- 3) 第三者被害防止のため緊急撤去のお願い
- 4) 道路鋏撤去後の対策提案

1) 道路鋏(チャッターバー)の効果と交通事情の変容



昭和から平成にかけて道路鋏(チャッターバー)はセンターラインのはみ出し防止の物理的デバイスとして県内各所に設置されており設置から既に30年近くが経過している。

道路鋏の目的と効果

- ・センターラインのはみ出し防止
- ・視認性の向上(路面からの突出により雨天時での再起反射による視認性確保)
- ・自発光式による夜間の視認性確保

交通事故パターンの傾向

交通社会の発展に伴い交通事故の傾向は幹線道路での正面衝突などから交差点での出会い頭事故へと変容傾向にある

2) 破損した道路鋏による第三者被害

※写真撮影後すみやかに撤去しました。



破損した道路鋏により想定される主な第三者被害

- 二輪車の転倒
- 四輪車のタイヤやアルミ製ホイールの破損

3) 第三者被害防止のため緊急撤去のお願い



会員各位へ
破損した道路鋏を見つけた際には第三者被害防止のため直ちに管理者へ連絡をしてください。(箇所図、写真を添付)

4) 道路鋏撤去後の対策提案

道路修繕の際に老朽化した道路鋏を撤去し、以下2つの対策を提案

イ)高視認性区画線溶融リブ式の採用

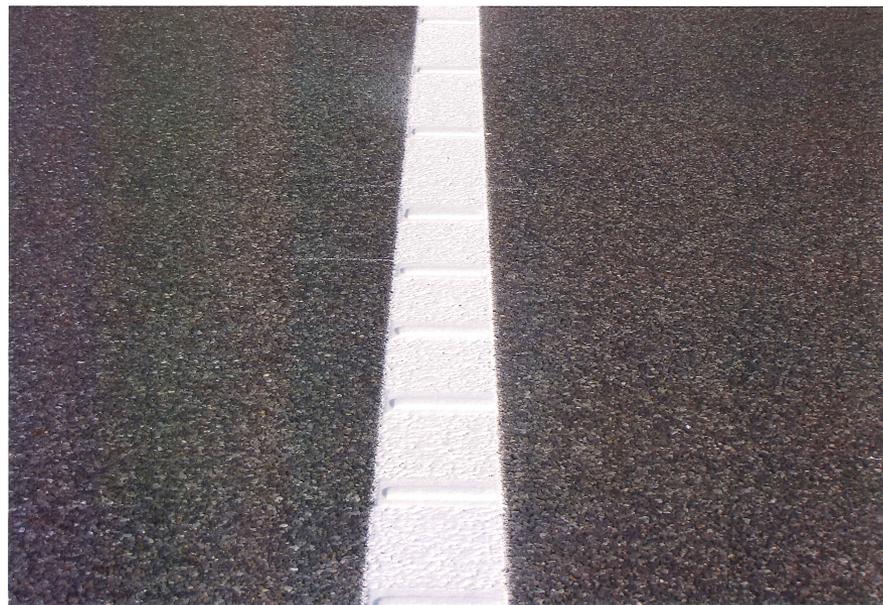
ロ)自発光式道路鋏のフラット化

所轄警察署への事前相談について

既存の道路鋌には道路管理者が設置したものと公安委員会が設置したものの二種類が混在しています。道路修繕の際にこれら道路鋌の廃止又はフラット化、高視認性区画線への変更をご検討の場合は必ず事前に所轄警察署への相談をお勧め致します。協議に必要な製品資料やレイアウトについてはお近くの当協会員又は協会事務局へご相談ください。専門性の高い各委員が対応をさせていただきます。

イ)高視認性区画線溶融リブ式とは

凸凹形状により雨天夜間時に高い視認性を発揮すると共に振動性により車両の車線逸脱に対する警告を促す効果を持つ

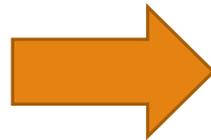


ロ) 自発光式道路鋏のフラット化

カーブ部分など線形の視認性確保が必要な箇所にはフラット型の自発光式道路鋏の設置を提案



従来品
t=48mm



フラット化された製品
t=7mm

提案力のある専門業者団体をめざして

私共(一社)愛知県道路標識・標示業協会は提案力のある専門業者団体をめざし今後もさまざまな取り組みを続けて参ります。交通安全に関わることでしたらどんな些細な事でもお気軽に地域の会員会社又は協会事務局へご相談ください。ご相談に対する最適な提案をご用意させていただきます。

ご清聴ありがとうございました

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会
標示部会